特定小電力トランシーバー

FC-B47

(総務省技術基準適合機器)

取扱説明書

このたびFIRSTCOMをお買上げいただきましてありがとうございます。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

お読みになったあとは、大切に保管し、おわかりにならないことがあった時に、再度お読みください。

このトランシーバーは日本国内用機器ですので外国では使用できません。

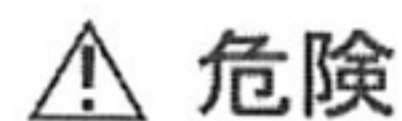
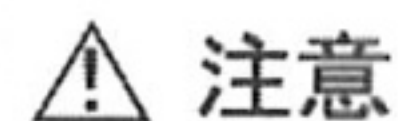
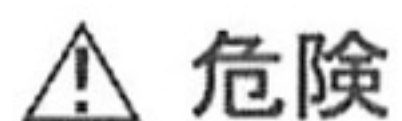
株式会社　エフ・アール・シー

目 次

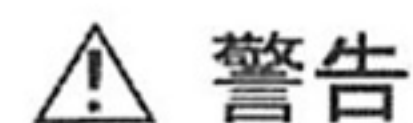
目 次

安全上のご注意

■絵表示について

この〔安全上のご注意〕には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。ご使用の際には、次の内容（表示と意味）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠ 危険	誤った取扱をすると、人が死亡または重症を負う危険性が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています
⚠ 注意	誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ 危険

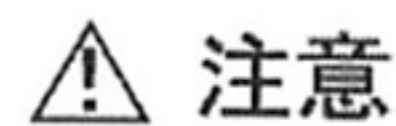
■バッテリーパックの取扱について

- 使用にあたり、当社指定のバッテリーパック及び市販の単３型アルカリ電池以外は使用しないでください。液漏れ、発火、破裂させる原因となります。
- 充電温度範囲は５℃～４０℃です。この温度範囲以外では充電しないでください。
- 専用充電器以外では充電しないでください。
- 火の中に投入したり、加熱したりハンダ付けなどしないでください。
- 液が目に入った時は、失明のおそれがありますので、こすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
- 液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に傷害を起こすおそれがありますのですぐにきれいな水で洗い流してください。
- 電極をショートさせないでください。

⚠ 警告

■使用環境・条件

- 交通安全上、運転しながらの交信はおやめください。
- 電子機器、特に医療機器の近くでは使用しないでください。
- 航空機内、空港敷地内、新幹線車両内では、使用しないでください。
- 海外で使用はできません。

■充電器の取扱について

- ＡＣ１００Ｖ以外の電圧で使用しないでください。
- タコ足配線はしないでください。過熱、発火の原因となります。
- 濡れた手でＡＣコードのプラグに触れたり、電源コードを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
- 水をかけたり、水がはいらないように使用してください。
- 直射日光を避けて風通しの良い状態でご使用ください。
- この製品は調整済みです。分解・改造して使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 充電端子をショートさせないでください。

⚠ 注意

■使用環境・条件

- テレビやラジオの近くで使用すると、電波障害を与えたりすることがあります。
- 車内のダッシュボードやヒーターの吹き出し口など異常に温度が、高くなる場所には置かないでください。
- 湿気の多い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- アンテナを誤って目にささないようにしてください。
- 長時間使わないときは、電源スイッチを切り、バッテリーパックを外して、充電器はプラグをＡＣコンセントから抜いてください。

■保守・点検

- お手入れの際は、電源スイッチを切り、バッテリーパックを外して、充電器はプラグをＡＣコンセントから抜いてください。
- 水滴が付いたら、乾いた布でふきとってください。汚れのひどい時は、水で薄めた中性洗剤をご使用ください。シンナーやベンジンは使用しないでください。
- 充電器の端子を金属等でショートさせると発火などの恐れがあります。

お客様または第三者が本製品の誤使用、誤設定、使用中に発生した故障、誤動作、不具合あるいは天災や停電等の外部的な要因によって情報・通信等の機会を逸したために生じた損害等につきまして、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

代表的な機能

●同時通話モード
携帯電話と同じ感覚で、スイッチを押さなくても通話が
可能です。
・・・ 15ページ

●ハンズフリー機能
PTTを押さなくても、マイクに向かって話すだけで自動
送信されます。
・・・ 23ページ

●グループ通話モード
仲間以外の混信を防ぐグループ通話モード
・・・ 20ページ

●エマージェンシー＆セーフティー ライト機能
自分の居場所又は、緊急時に高輝度ＬＥＤの光でお知らせします。
・・・ 28ページ

●日常生活防水仕様
JIS４級防沫仕様（IPX4)を満足しておりますので、少々の雨でも
平気です。
・・・ 34、37ページ
*イヤホンマイクを使用時には防水になりません。

●ベビーモニター機能
別室で寝ている赤ちゃんの様子を遠隔でモニターできます。
・・・ 17ページ

●丈夫なボディー
ポリカーボネート樹脂を使用しておりますので、少々の落下に耐える
頑丈なボディーケースです。
・・・ 37ページ

付属品の確認

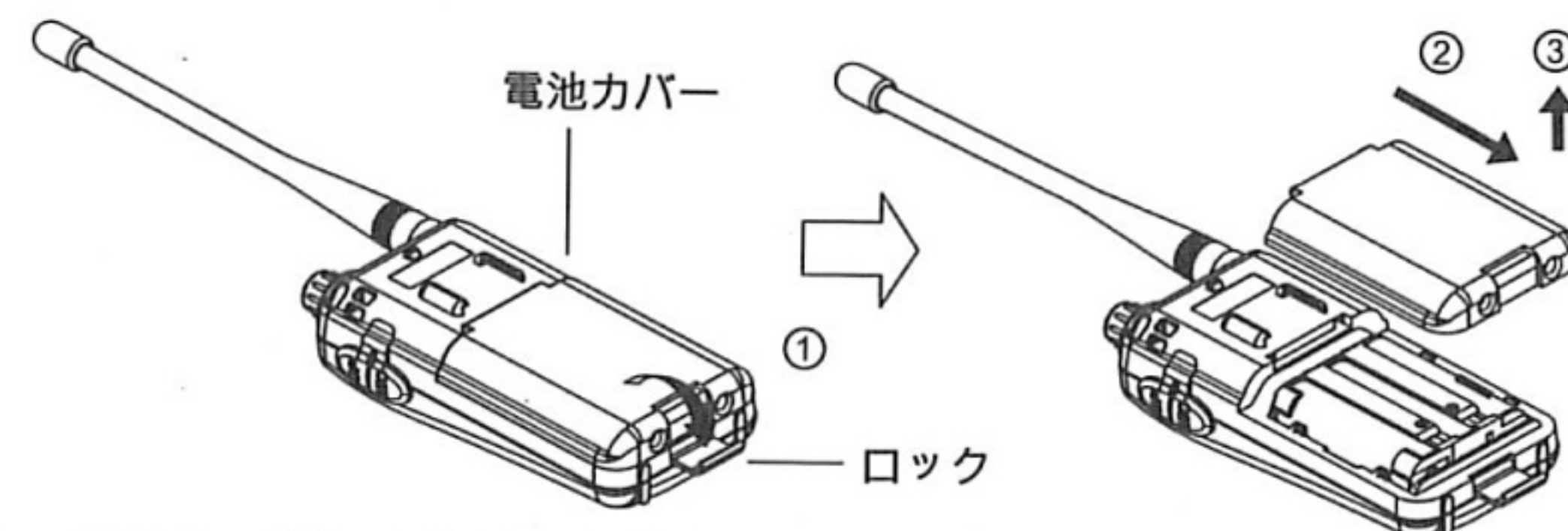
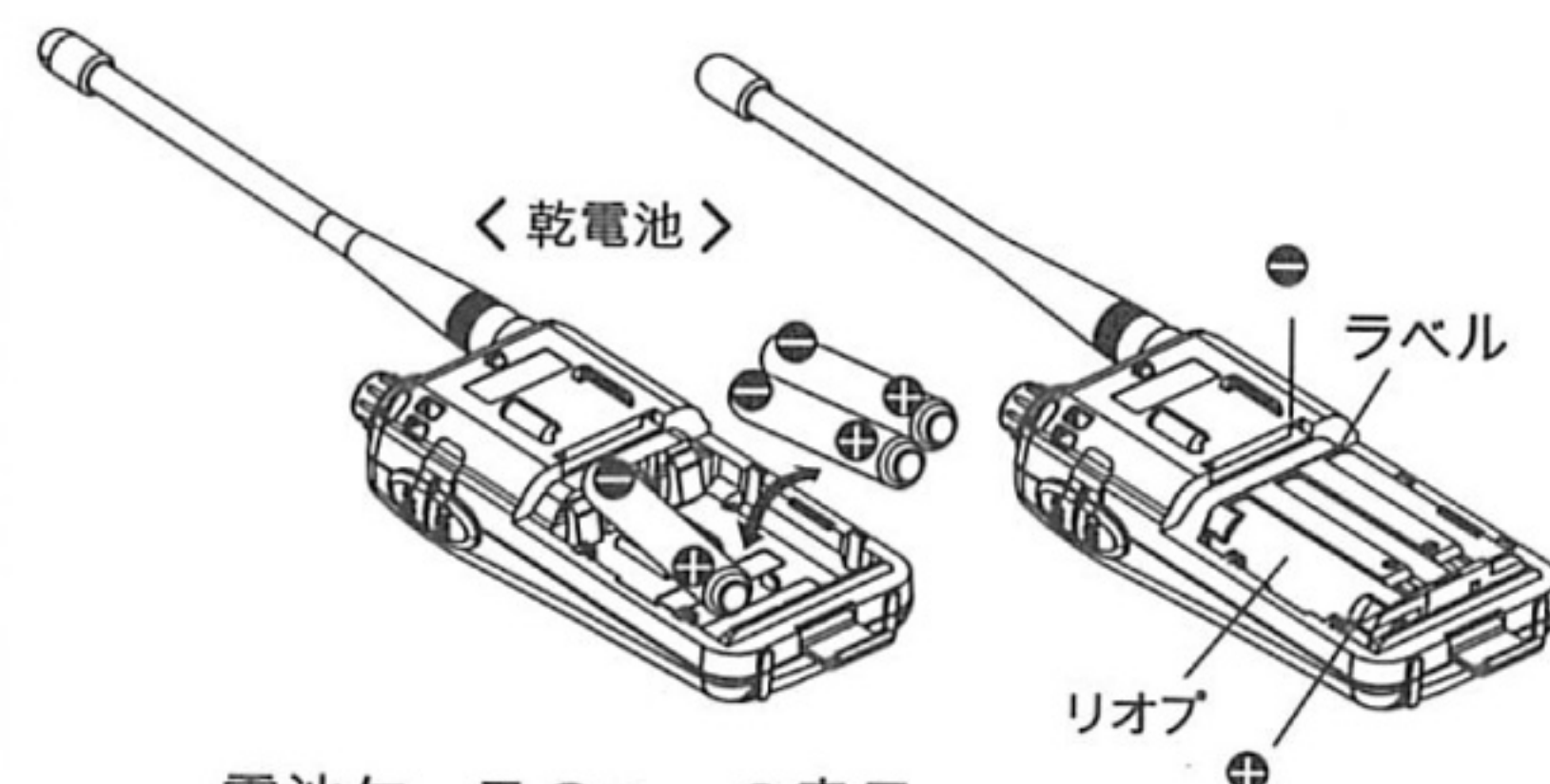
■ ベルトクリップ×1個
■ 保証書×1部　（取扱説明書に合冊）
■ 取扱説明書×1部

ご使用前の準備

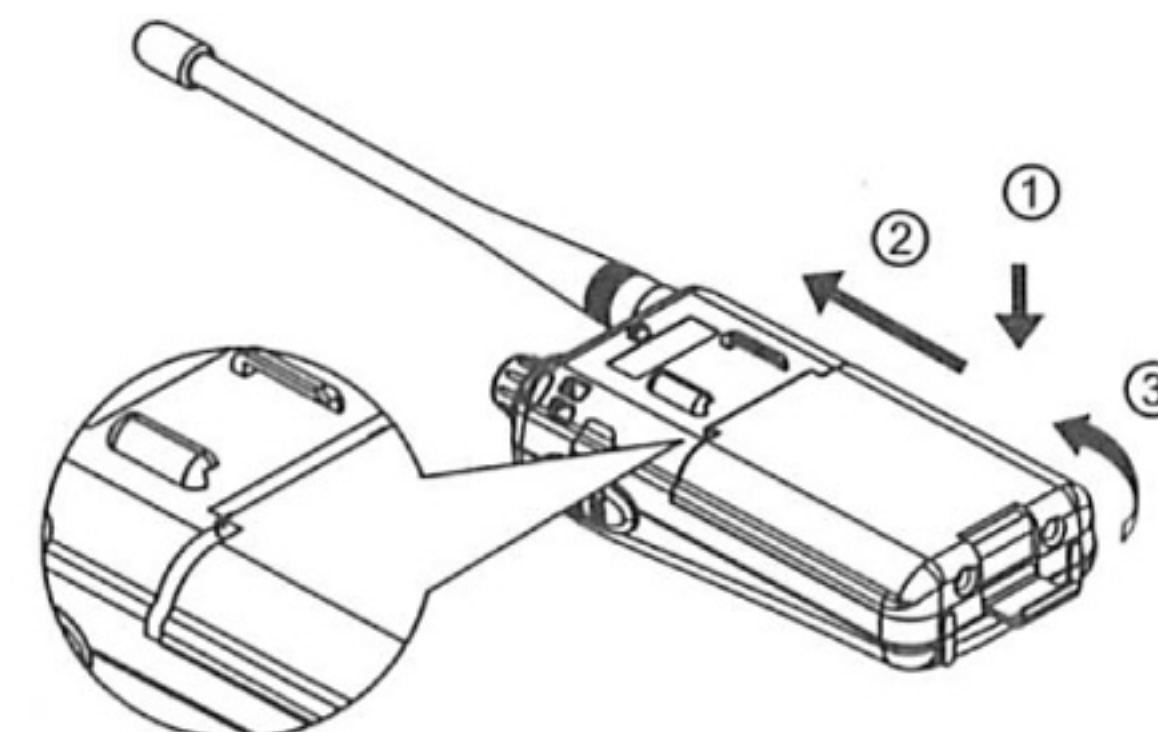
■電池の入れ方

電池カバーを空ける前に、ベルトクリップを外します。
アンテナは、まっすぐに立てて使用します。

１．ロックを下方へ外し、電池カバーを開けます。

２．電池は＋側から先に入れます。

電池ケースの＋ －の表示
に従って、単３乾電池３本
を＋側から入れます。

オプションのバッテリー
パックの場合も＋側から先に
入れます。
バッテリーパックFBP-1
は、ラベルの+-の極性表
示を電池ケースの+表示
に合わせて、+側から入れます。

３．電池カバーを閉めます。

電池カバーを閉め、ロック
をかけます。

■電池について

アルカリ乾電池（単３型３本：４.５Ｖ）、または別売りの専用バッテリーパック（ＦＢＰ－１：ＤＣ３.６Ｖ）のご使用をおすすめします。

電池の使用可能時間のめやす

電池の種類	使用可能時間	
	交互通話	同時通話
アルカリ乾電池	約６０時間	約８.５時間
バッテリーパック（ＦＢＰ－１）	約２４時間	約３.５時間

【使用条件】

交互通話：送信５秒、受信５秒、待ち受け５０秒を繰り返した場合

同時通話：連続通話状態にて使用した場合

●乾電池に関する注意

乾電池は、使い方を誤ると破裂や破損、液漏れの原因となります。

次の注意事項を必ずお守りください。

１．使用した乾電池と、新しい乾電池を混ぜて使用しない。

２．３本とも同じ種類の乾電池を使用する。

３．乾電池は充電しない。

４．火の中に投げ込まない。

５．ショート（短絡）、分解、過熱しない。

６．長時間使用しないときは、乾電池を電池ケースからとりだしておく。

●市販の単３型充電式電池について

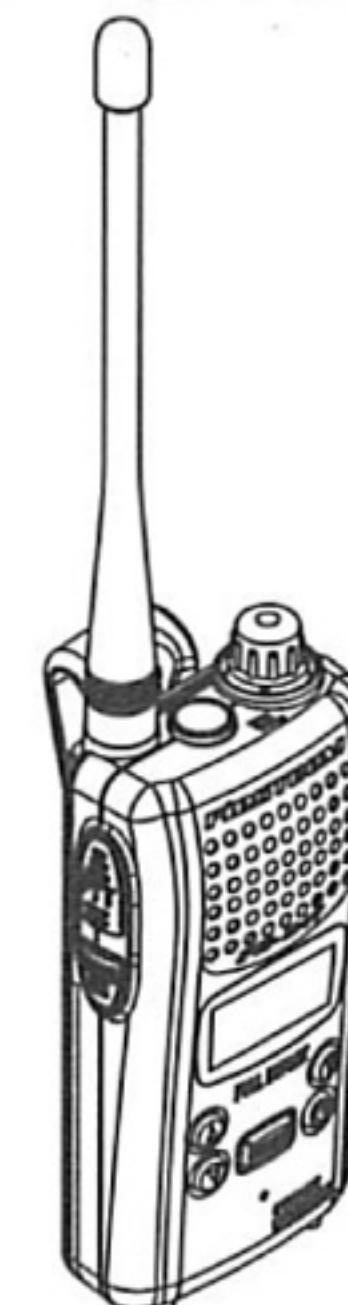
単３型充電式電池は使用しないでください。

端子や電池被覆がショートして発熱し、電池ケースや本体が壊れることがあります。

■アンテナの取り扱い方

使用するときは、必ずアンテナを垂直に立ててご使用ください。

９０度に曲げたり、U字型に折り返したりしないでください。

垂直に立てない場合、通達距離が短くなり、本体電子回路にも悪影響が出ます。

■ベルトクリップの取付け方

ベルトクリックを、下から上へ、はめ込みます。

各部の名称

■本体

エマージェンシー＆セーフティーライト

アンテナ

ＰＴＴ（送信）ボタン

音量つまみ

MONI ボタン

ＵＰ ボタン

スピーカー

DOWN ボタン

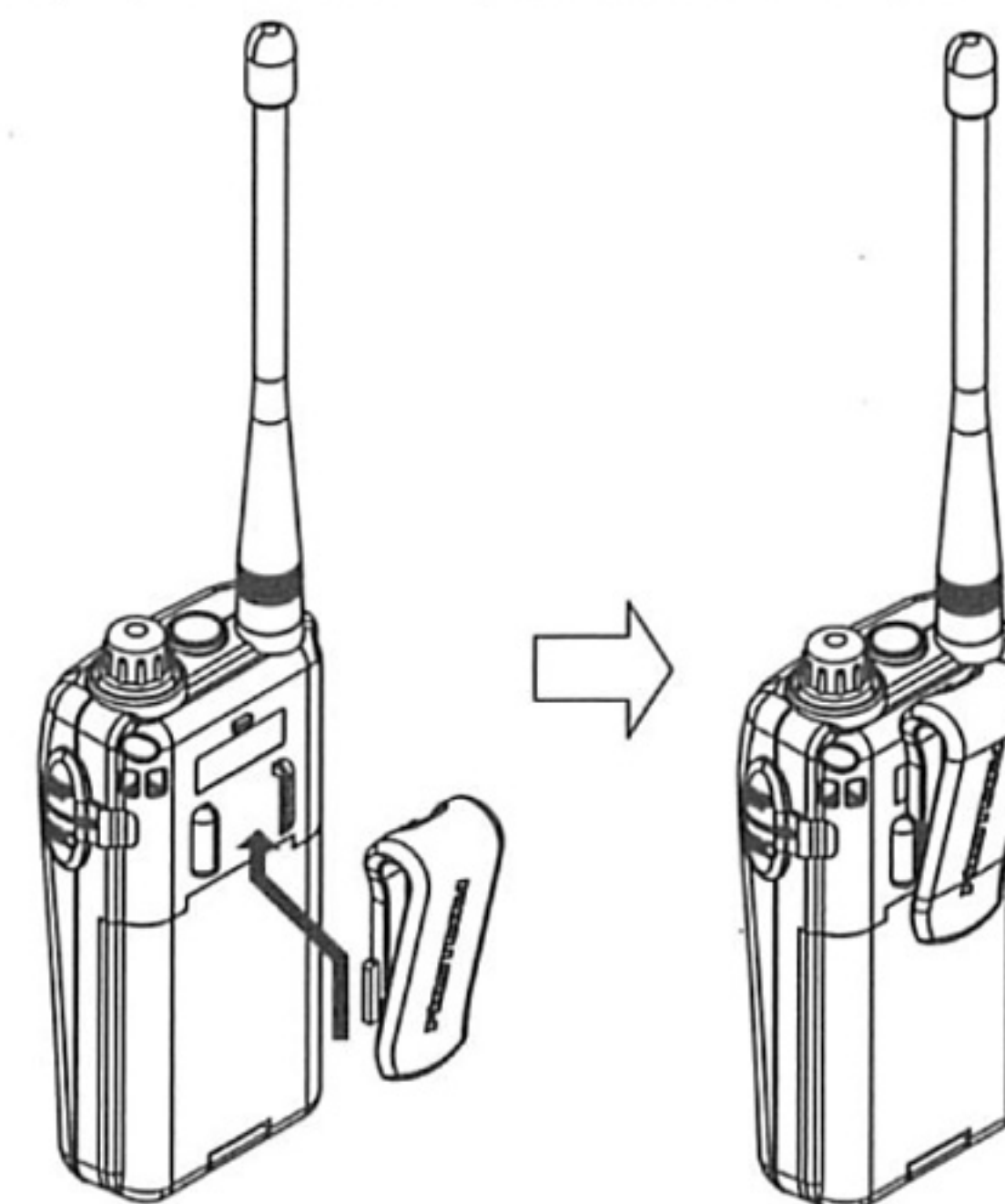
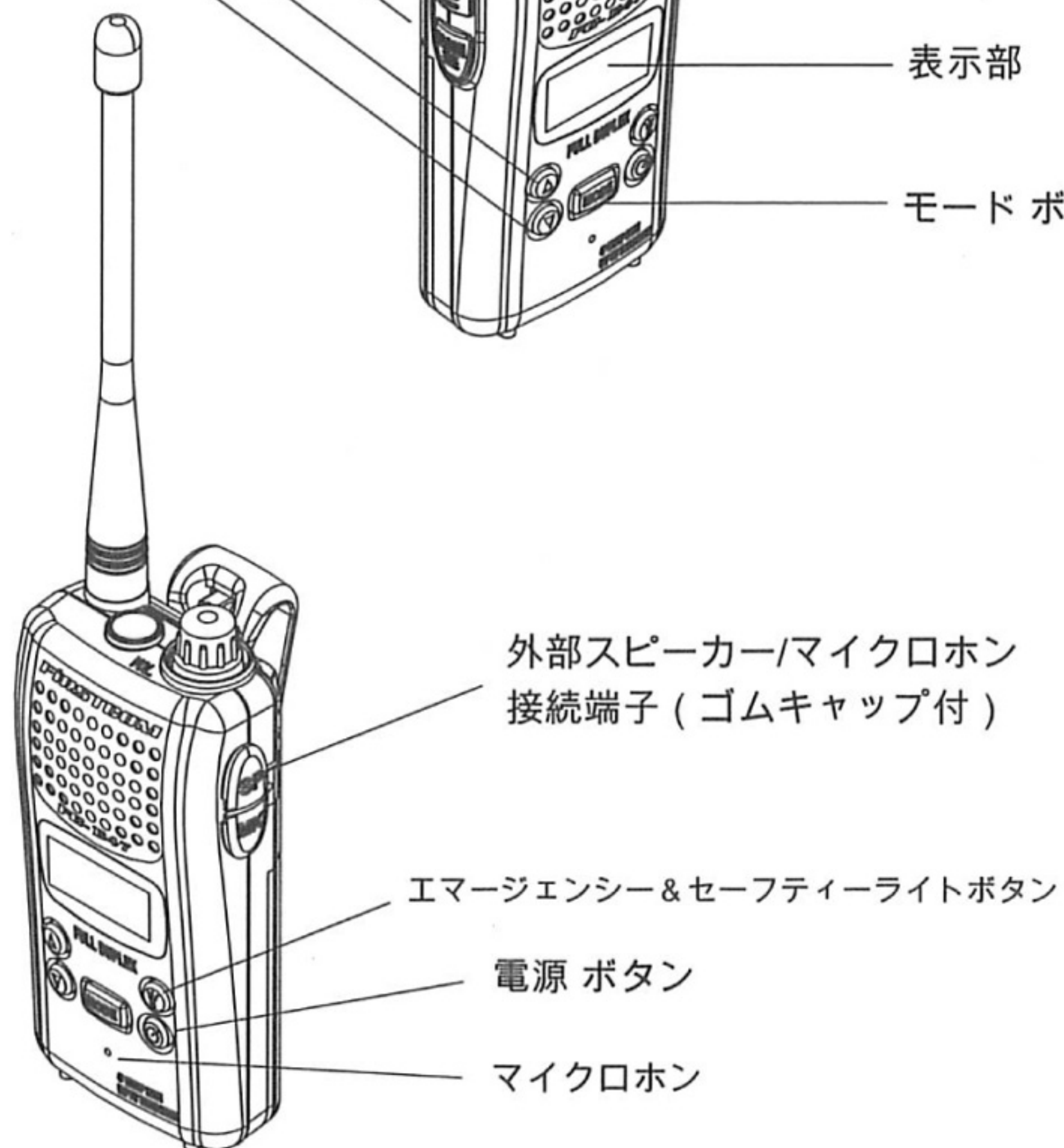
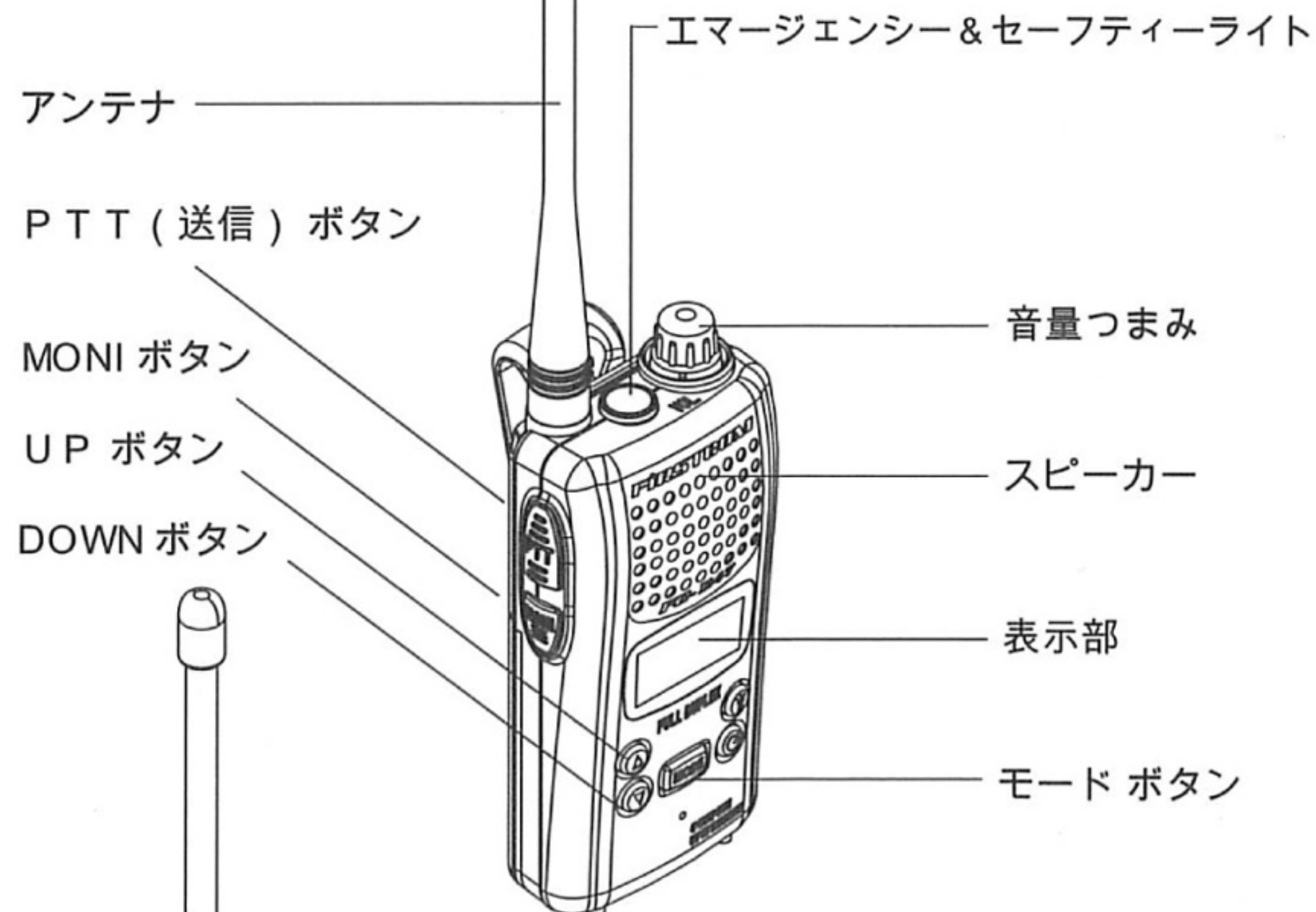
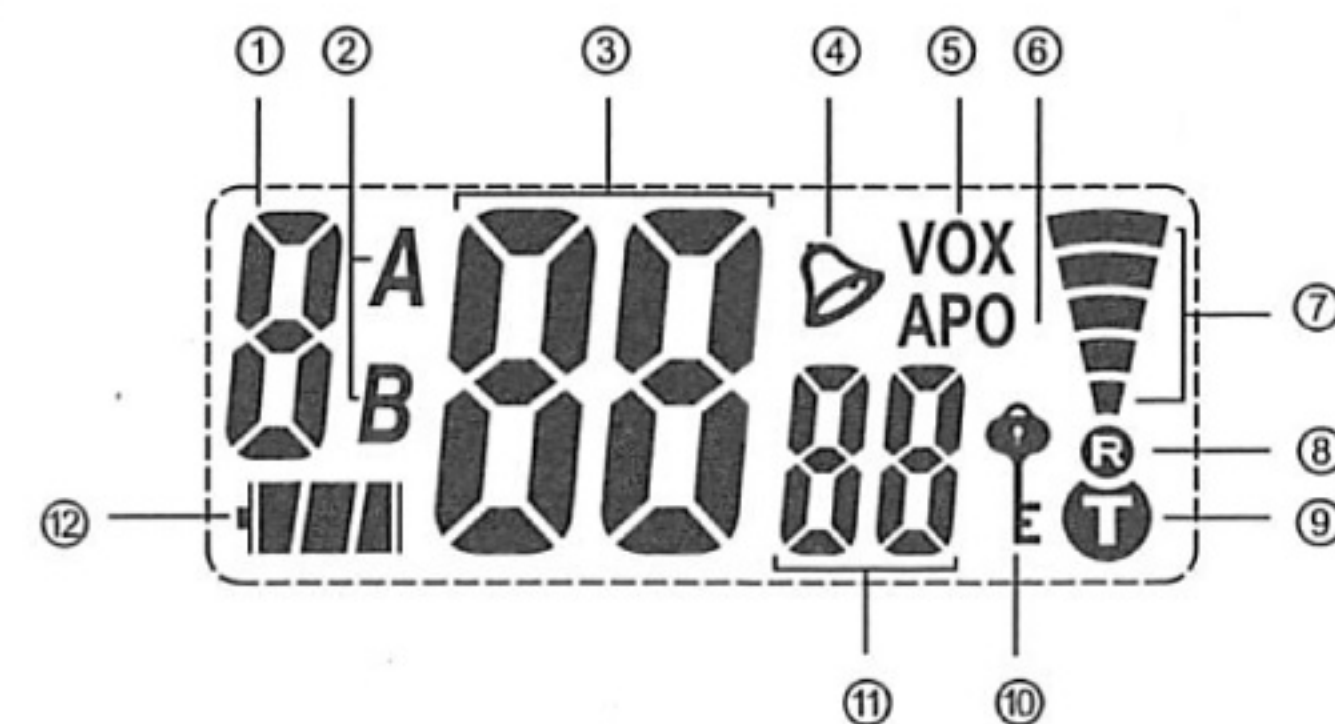
表示部

モード ボタン

外部スピーカー/マイクロホン
接続端子（ゴムキャップ付）

エマージェンシー＆セーフティーライトボタン

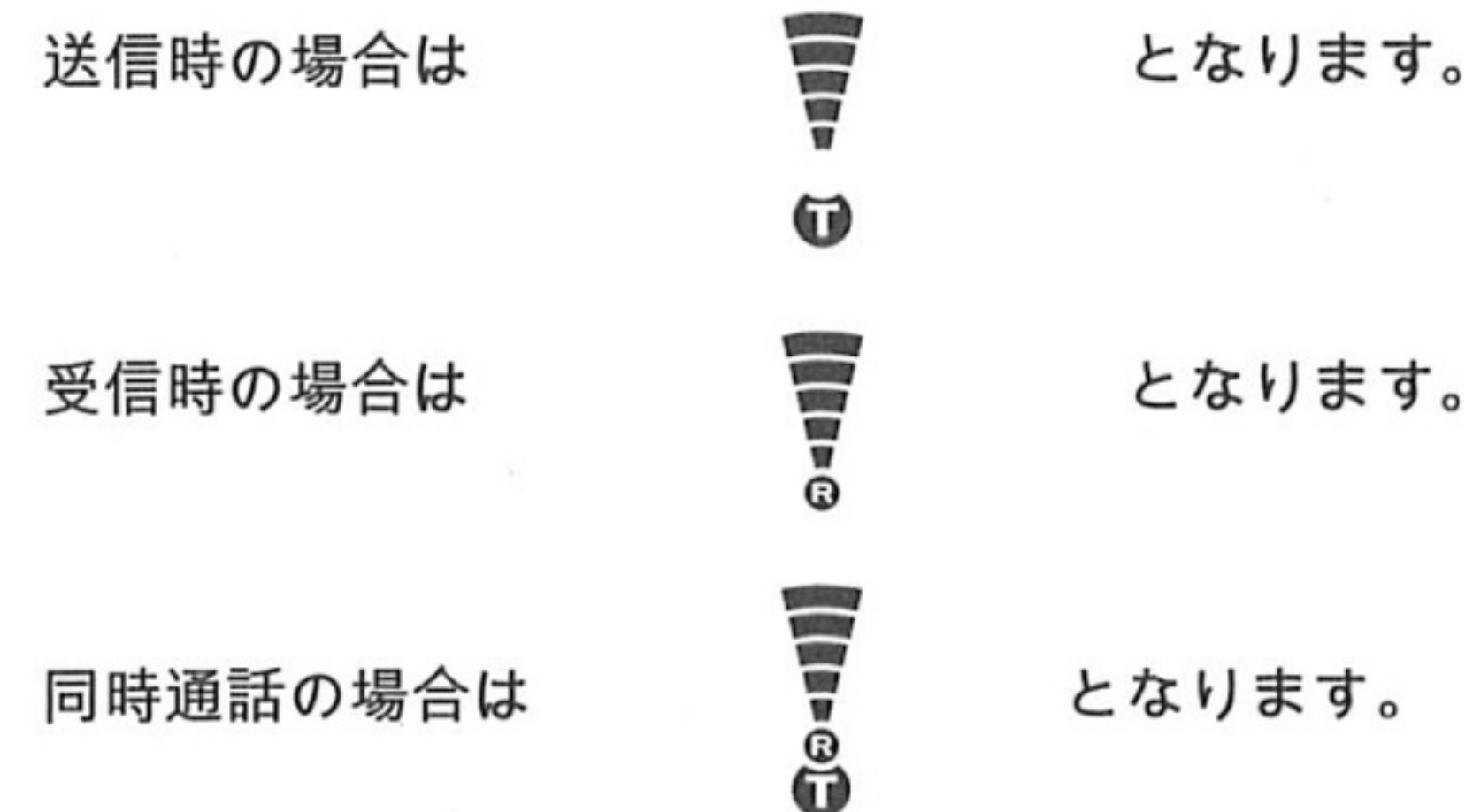
電源 ボタン

マイクロホン

■表示部

LCD表示	表　示　機　能	説明ページ
①	モード表示（単信、複信、モニター）	12～17
②	周波数帯　表示　（親機：A、子機：B)	17、36
③	チャンネル表示 （交互通話20ｃｈ、同時通話27ｃｈ）	36
④	スタンバイ ピー（ベル コール）	27
⑤	VOX（ハンズ フリー）	23
⑥	APO(オート パワー オフ)	24
⑦	送信パワー/ 受信強度表示	21
⑧	受信表示	12～17
⑨	送信表示	12～17
⑩	キーロック	31
⑪	グループ 通話（CTCSS) 表示	20
⑫	電池残量表示	29

■送信・受信時（ON/AIR)の表示

送信時の場合は　　となります。

受信時の場合は　　となります。

同時通話の場合は となります。

通話モードの設定

通話モードには、３つのモードがあります。

モード１：単信モード（交互通話のことです。）
モード２：複信モード（同時通話のことです。）
モード３：ベビー モニター　モード（遠隔でのモニターが可能です。）

■準備

１．電源を入れる。

赤いボタンを液晶表示が出るまで約２秒間押す。
電源が入り、液晶画面が表示されます。
（瞬間的に全文字･記号が表示されます。）
電源を切るときは、液晶表示が消えるまで約２秒間赤いボタンを押してください。

２．音量を調整する。

ＶＯＬを右に回し、音量を上げておく。

３．通話モードを選択する。

ＭＯＤＥボタンを押してモード表示（１～３）が点滅していることを確認する。

▲(UP)又は▼(DOWN)　ボタンを押して、通話モードを選択する。

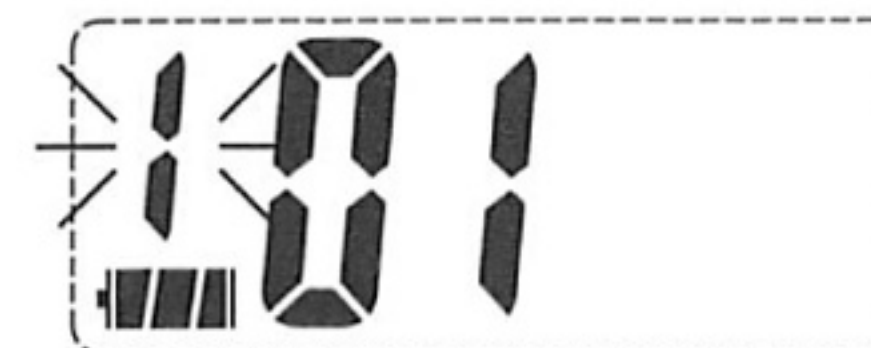
４．通信モードの決定

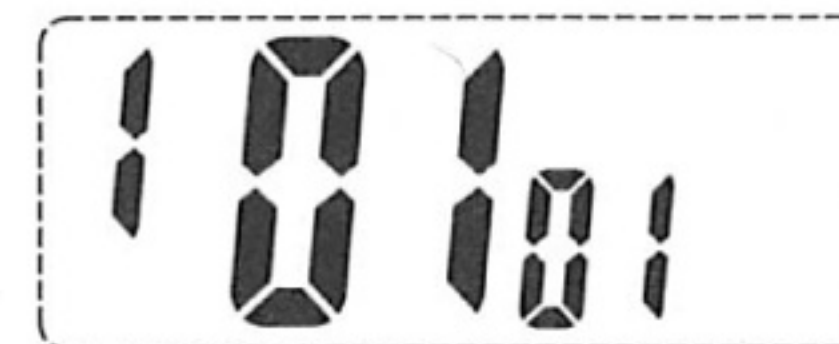
ＰＴＴスイッチを１回押すと、表示しているモードが決定されます。

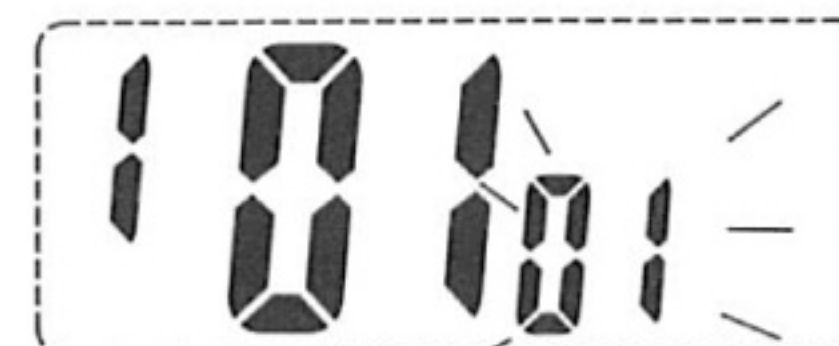
５．通信モードを変更する場合は、上記３．項～４．項を繰り返します。

交互通話（単信モード）の設定

もっとも基本的な交互で通話をするモードです。
【モード1】

１．ＭＯＤＥボタンを押してモード表示が点滅していることを確認する。
▲(UP) 又は▼(DOWN)　ボタンを押して、「1」を選択する。

２．ＰＴＴスイッチを１回押して、単信モードに設定する。

３．▲(UP) 又は▼(DOWN)　ボタンを押して、通話したい相手と同じチャンネルに合わせてください。
チャンネルは、０１ch～ ２０chの範囲になります。

４．グループ番号設定
チャンネル番号とグループ番号が同じ仲間とだけ交信ができます。

ＭＯＤＥボタンを押し､グループ表示を点滅させます。

▲(UP) 又は▼(DOWN)　ボタンを押してｏF～４７の中から相手と同じ番号を選ぶ。
ＰＴＴボタンを押して決定するか、そのままの状態で１0秒後に設定されます。

ｏF を選ぶとグループ モードがＯＦＦとなり、すべてのグループ モードが聞こえます。

５．送信する場合は、ＰＴＴボタンを押しながら、マイクに向かって
話してください。

６．受信する場合は、PTTボタンを放せば受信になり相手の
声が聞こえます。

特定小電力トランシーバーの法的制限

■通信時間制限について

特定小電力トランシーバーにて連続的に交信する場合は、
送信と受信の時間を合わせて、３分間で自動的に送信を
停止し、受信状態になります。
３分間の通信時間制限機能により自動停止となった後の
２秒間は送信できません。
２秒間を経過後は通常どうり交信できます。

通信モード２（同時通話）及び通信モード３（ベビーモニター）
にて２１ｃｈ～３８ｃｈを使用し、送信パワーを「Lo」に設定したとき
のみ、この通信時間制限はありません。

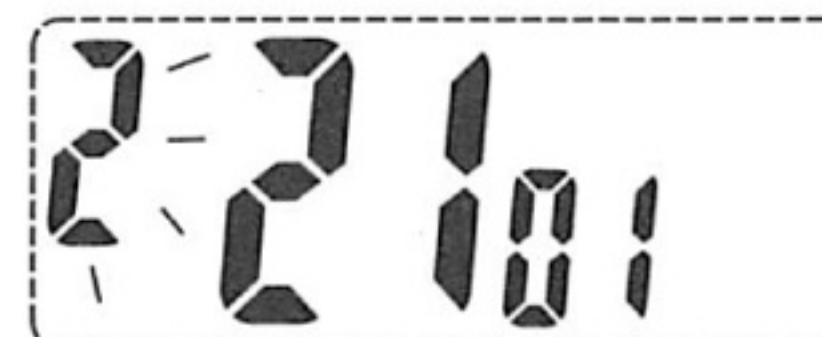
■キャリア センスについて

通信の相手、あるいは他の無線機からの信号を受信中は、
PTTボタンを押してもアラーム音がなり、送信できません。

これらの受信信号がなくなれば送信できます。
通信の相手、あるいは他の無線機からの信号を受信中は
送信できません。
信号を受信中に、PTTボタンを押してもアラーム音がなり、
送信できません。
これらの受信信号がなくなれば送信できます。

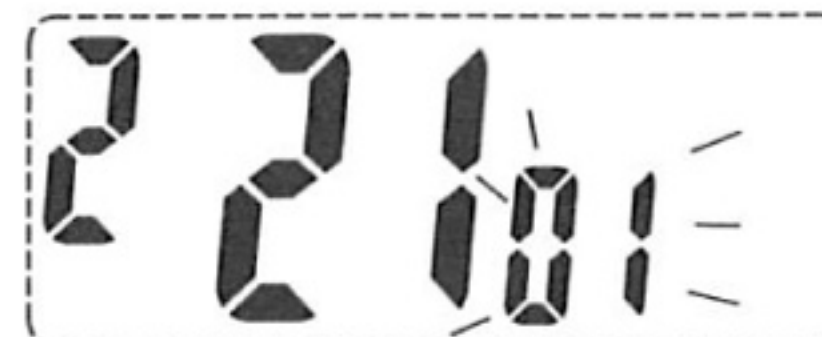
同時通話（複信モード）の設定

携帯電話の感覚で通話する同時通話のモードです。
【モード２】

１．ＭＯＤＥボタンを押してモード表示が点滅していることを
確認する。
▲(UP) 又は▼(DOWN) ボタンを押して、「２」を選択する。

２．ＰＴＴスイッチを１回押して、複信モードに設定する。
そのままの状態でも１0秒後に設定されます。

３．▲(UP) 又は▼(DOWN) ボタンを押して、通話したい相手と
同じチャンネルに合わせてください。
チャンネルは、２１ch～ ４７chの範囲になります。

４．グループ番号設定
チャンネル番号とグループ番号が同じ仲間とだけ交信が
できます。

ＭＯＤＥボタンを押し、グループ表示を点滅させます。

▲(UP) 又は▼(DOWN) ボタンを押して０１～４７の中から
相手と同じ番号を選ぶ。
ＰＴＴボタンを押して決定するか、そのままの状態で１0秒後に
設定されます。

5．発信側　（相手を呼び出す場合）
発信側のPTTボタンを押すと「プル プル プル」という呼出し音が約１0秒送出されます。
途中で呼出しをやめる場合は、MONIボタンを押せば止まります。

相手（受信側）が呼出し中に、MONIボタンを押すと、通話状態になります。
応答してくれる相手がいなければ、１0秒後に自動的に呼出しが中断します。

相手（受信側）が呼出し中に、MONIボタンを押し通話状態になると
携帯電話と同じよう発信側、受信側ともにスピーカーに耳を当てて同時通話ができます。

6．受信側　（呼び出された場合）
呼び出された時は、スピーカーから「プル プル プル」という呼出し音が聞こえます。
約１0秒以内に、MONIボタンを押すと通話状態になります。

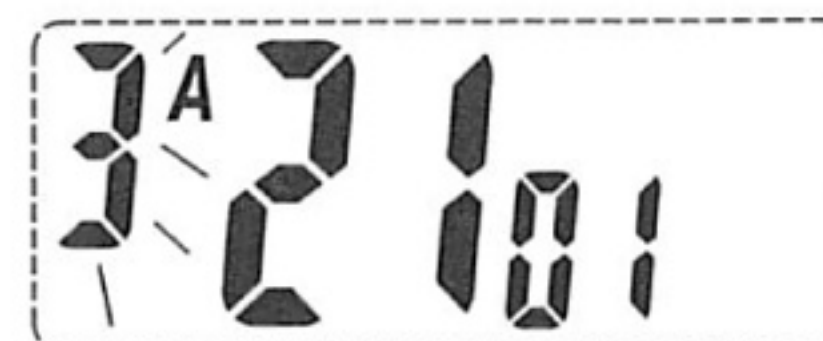
携帯電話のようにスピーカー部に耳をあてますと相手の声が聞こえます。
同時に、こちらからの声も相手に届きます。

7．終話
通話状態でMONIボタンを押すと通話が終わります。
発信側、受信側ともに同じです。

8．他人に先に応答された場合
MONI　ボタンを押しても交信はできません。

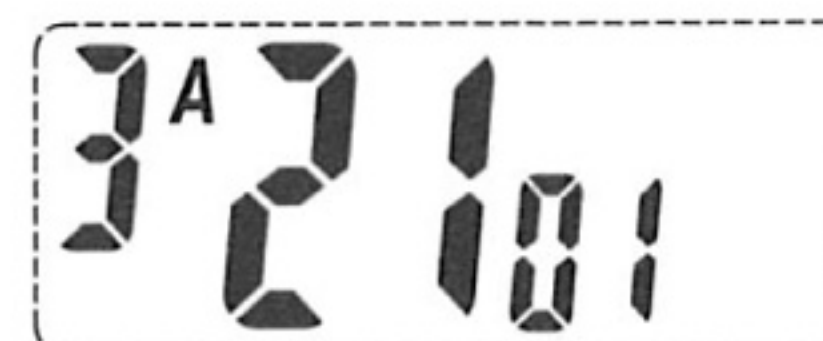
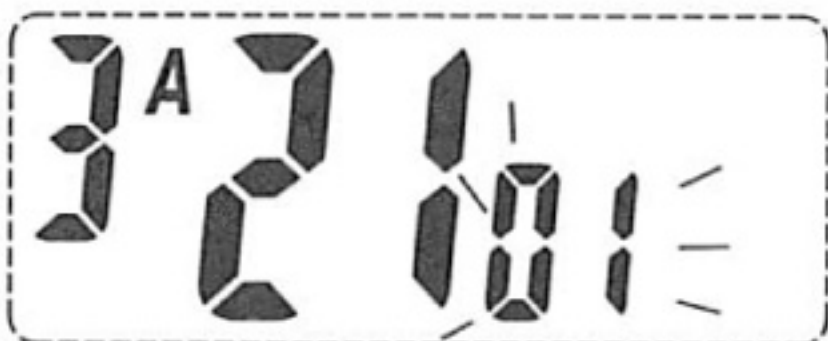
ベビーモニター（半複信モードの設定）

２台の内の１台をAに設定し親機とし、他の１台をBに設定し
子機として、子機周辺の音声を親機側でモニターするモードです。
【モード３】

１．ＭＯＤＥボタンを押してモード表示が点滅していることを確認する。
▲（UP）又は▼（DOWN）ボタンを押して、「３」を選択する。

２．ＰＴＴスイッチを１回押して、半複信モードに設定する。
そのままの状態でも１0秒後に設定されます。

３．使用する周波数帯の選択
MODEボタンを押して、AまたはBを点滅させる。
▲（UP）又は▼（DOWN）ボタンで、
親機はA、子機はBを選択する。

４．ＰＴＴスイッチを１回押して、周波数帯を設定する。
そのままの状態でも１0秒後に設定されます。

５．▲（UP）又は▼（DOWN）ボタンを押して、モニターしたい
相手と同じチャンネルに合わせてください。
チャンネルは、２１ch～ ４７chの範囲になります。

6．グループ モードの設定
MODEボタンを押し、グループ番号表示を点滅させます。

▲(UP) 又は▼ (DOWN) ボタンを押して、０１～４７の中から選択し
親機と子機を同じグループ番号に設定する。

ＰＴＴスイッチを１回押して、グループ番号を決定する。
そのままの状態でも１0秒後に設定されます。

７．親機で子機の音声をモニターする。
親機のPTTを１秒間押して、はなすと子機が親機のコントロール信号を受け、
自動的に送信状態になり、音声を親機に送ります。

親機にて子機の周辺音声を、離れた場所で聞こえます。

８．受信を停止する。
親機が受信を止めたい時は、PTTボタンを押せば、子機が親機のコント
ロール信号を受け、自動的に送信を止めます。
子機が送信中にMONIボタンを押せば送信が止まります。

９．通信時間制限
子機に高パワー（PoHI）を設定した場合は、送信時間３分間を超えると
送信を自動で止めます。

モード別 各種機能設定表

No.	モード	モード1	モード2	モード3
	モード名	単信モード	複信モード	ベービーモニター
1	チャンネル（ｃｈ）	1-11、12-20	21-38、39-47	21-38、39-47
2	グループ　通話	○	◎	◎
3	チャンネル スキャン	○	×	×
4	送信パワー設定	×	▲	▲
5	コール（特定呼出音）	○	×	×
6	コール（特定呼出）音　選択	○	×	×
7	VOX（ハンズ フリー）	○	×	×
8	APO (オート パワー オフ)	○	○	○
9	SQL（スケルチ）	○	○	○
10	LCD消灯	×	○	×
11	スタンバイ　ビー（ベル コール）	○	×	×
12	スタンバイ　ビー（ベル コール）音 選択	○	×	×
13	キー操作確認音機能	○	○	○
14	周波数帯	×	×	○
15	エマージェンシー＆セーフティーライト	○	○	○
16	バッテリー種類選択	○	○	○
17	バッテリー警告機能	○	○	○
18	キーロック	○	○	○
19	モニター機能	○	×	×

◎：設定必要
○：設定可
▲：21ｃｈ～38chの場合に設定可
×：設定不可

各種機能設定

■チャンネル設定

通信を行なう周波数を設定します。
（通話相手と同じチャンネルにする。）

1．通常状態で、▲（UP）又は▼（DOWN）ボタンを押して、
希望のチャンネルを選択する。
交互通話：01～20ｃｈ
同時通話：21～47ｃｈ
ベビーモニター：21～47ｃｈ

■グループ通話設定

チャンネルとグループ番号が同じ仲間の声だけが
聞こえます。

1．通常状態でMODEボタンを押してグループ通話番号
表示を点滅させます。

2．▲（UP）又は▼（DOWN）ボタンを押して、相手と同じ
番号を設定します。

モード１の場合は、"oF"または"０１"～"４７"の範囲で選択します。
oF表示は、このグループ通話を使用しない場合に設定します。

モード２及びモード３の場合は、"０１"～"４７"の中から選択します。

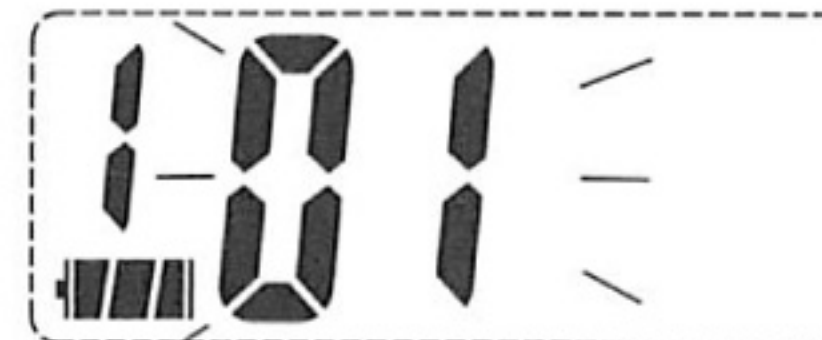
3．PTTスイッチを押すと、表示している番号が設定されます。
そのままの状態でも１0秒後に設定されます。

（注意）
グループ通話でも、同じチャンネル番号の電波は全て受信されます。

他のグループがそのチャンネル番号を使っていると、音声は聞こえなくても受信状態になり、ＰＴＴボタンを押しても送信できません。
（キャリア センス機能よる。⇒14ページ参照）

■チャンネル スキャン機能

通話しているチャンネルを自動的に探すことができます。
モード１（交互通話）のみ可能です。

1．MONIボタンを1回押すと、チャンネル表示が点滅します。

2．ＵＰ又はＤＯＷＮ
ボタンを1秒以上長押しするとチャンネルが動きだして、受信したチャンネルで自動的にとまります。

3．ＰＴＴスイッチを1回押すと、表示しているチャンネルが決定されます。

■送信パワー設定機能

送信パワーを10mW(Hi)または1mW（Lo)に設定します。
送信パワーを1mW（Lo)に設定することで、３分間の通信時間
制限をなくす場合に使用します。(21ch～38ｃｈ）

1．MODEボタンを押し、Po表示で"HI"あるいは"LO"を点滅させる。

2．▲（UP）又は▼（DOWN）ボタンを押して、Po HI ⇔ PoLOを切り替えます。

* モード１（交互通話）では、この設定はできません。
* モード２及び３の場合で、チャンネル２１～４７ｃｈの範囲でPoHIに設定すると通信時間は３分間となります。
* 送信パワーを1mW（Lo)に設定すると通達距離が短くなりますので、ご注意下さい。

■ コール（特定呼出音）機能設定

コール音にて、同じチャンネル設定の、同じグループ設定の相手を呼び出します。
モード１（交互通話）のみ設定可能です。

１．PTTボタンを押した後に、MONIボタンを押す。

２．コール音を送信する。

３．PTT、MONIのいずれかのボタンから手はなすと、１秒後に送信がとまります。

■ コール（特定呼出音）音楽　選択

コール（特定呼出音）の呼出音の種類を選択します。

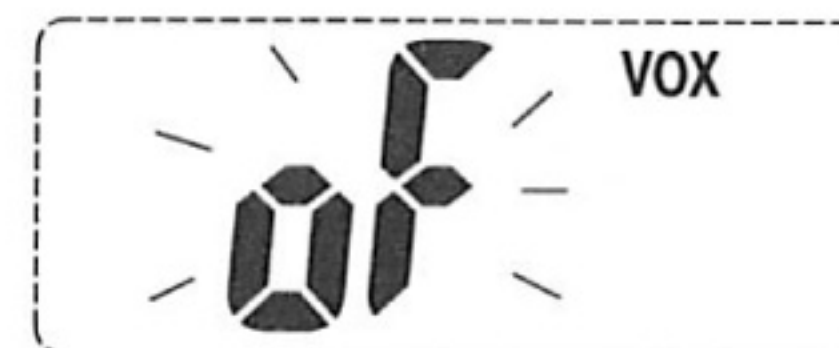
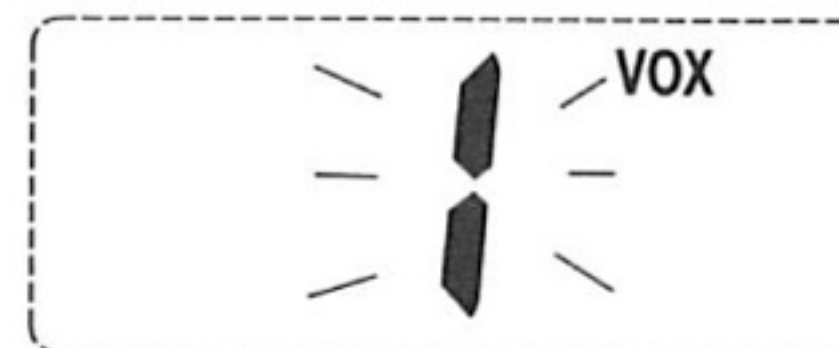
１．モード１（交互通話）にてMODEボタンを押し、Ct表示で "01"を点滅させる。

２．▲（UP）又は▼（DOWN）ボタンを押して、"01"~"10"の中から選択する。
初期設定は" 01" です。

３．PTTスイッチを押すと、表示している番号が設定されます。
そのままの状態でも１0秒後に設定されます。

■ VOX（ハンズ フリー）機能

PTTボタンを押さずにマイクに向かって話すだけで、自動的に送信できます。
話をやめると待ち受け状態に戻ります。
モード１（交互通話）のみ設定可能です。

１．MODEボタンを押して、VOX表示で "oF"表示を点滅させます。

２．▲（UP）又は▼（DOWN）ボタンを押して、"oF"、"1"~"5"の中から選択します。

"1"~"5"は、音声に対するマイクの感度を５段階で調整 できます。

"1"に設定すると、音声に対しマイクが高感度になります。
（小さい声で送信になる。）

"5"に設定すると、音声に対しマイクが低感度になります。
（大きい声で送信になる。）

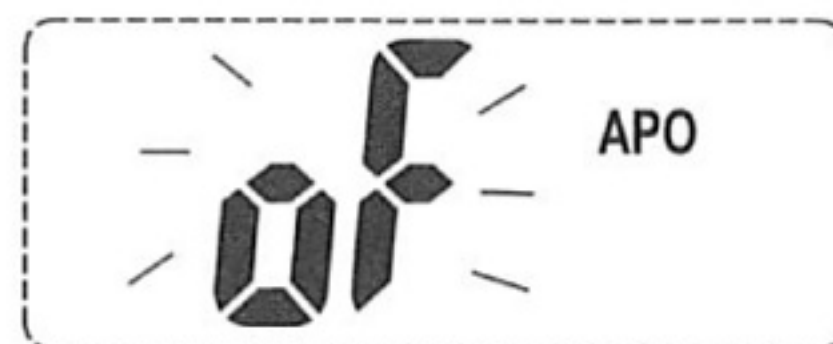
VOX ハンズフリー機能を使用しない時は、"oF"を選択してください。

３．PTTスイッチを押すと、表示している番号が設定されます。
そのままの状態でも１0秒後に設定されます。

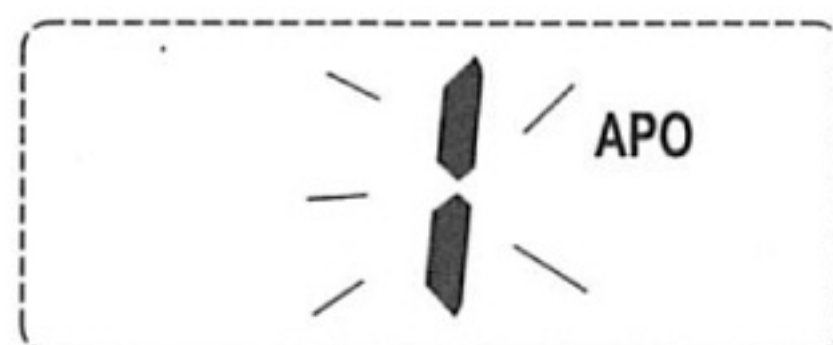
■APO (オートパワーオフ)機能設定

設定した時間に受信状態にならず、操作を行われなかった場合、
電源を自動的に切ります。
電源の切り忘れの心配もありません。

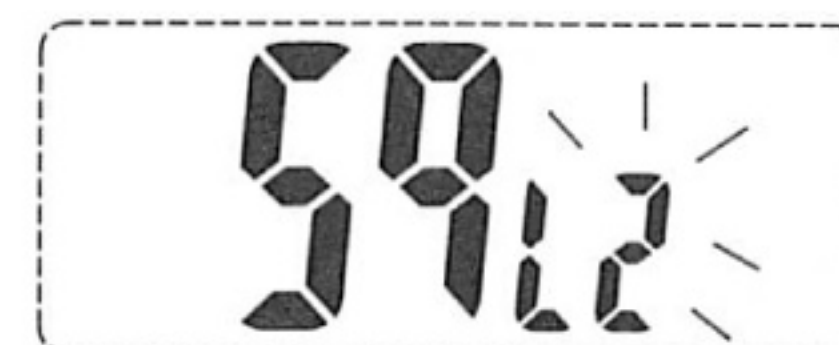
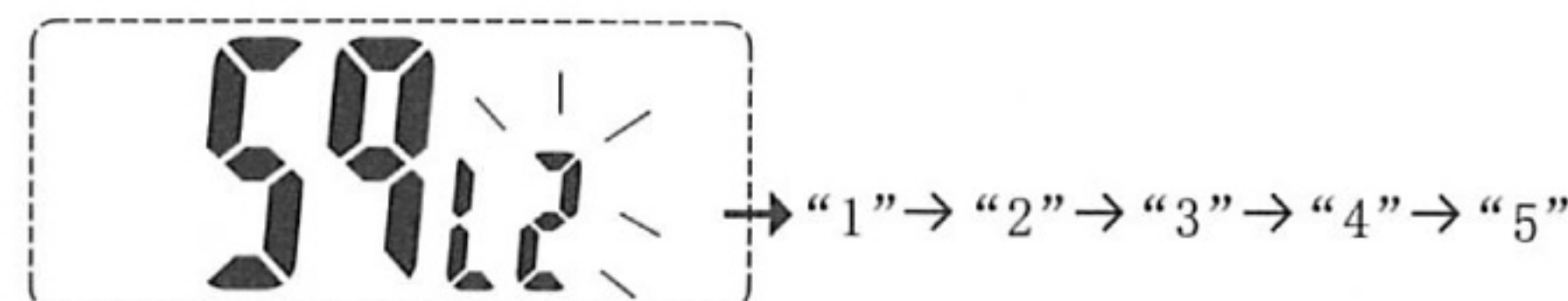
自動的に電源が切れるときに、"ピー"となります。

1．MODEボタンを押して、APO表示でöF表示を点滅させます。

2．▲(UP) 又は▼(DOWN) ボタンを押して、öF"、"1"~"6"(時間)
の中から選択します。

3．APO (オートパワーオフ)機能を使用しない時は、"oF"を
選択してください。

4．PTTスイッチを押すと、表示している番号が設定されます。
そのままの状態でも10秒後に設定されます。

■SQL (スケルチ) 調整

待受け状態で雑音が多い場合に、雑音を抑圧調整します。
待受け状態で雑音が出ない範囲で小さい数を入力すると、
より遠くの相手と通話ができます。

1．MODEボタンを押して S q l 表示で "2"を点滅させます。

2．▲(UP) 又は▼(DOWN) ボタンを押して、"1"~"5"の中から
選択します。

3．PTTスイッチを押すと、表示している番号が設定されます。
そのままの状態でも10秒後に設定されます。

■モニター機能

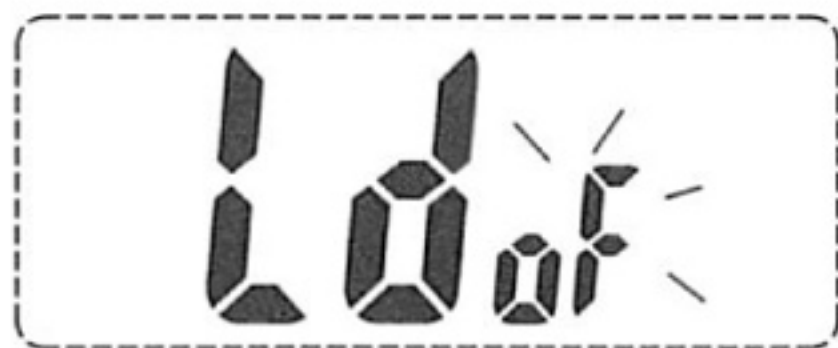
相手の信号が弱くなり、音が途切れたりした時、モニター機能を
ONにすると改善する場合があります。
モード1（交互通話）のみ設定可能です。

モニター機能 ON： MONIキーを2秒間押す。
モニター機能 OFF： MONIキーをもう一度押す。

モニター機能がONの場合は、受信信号がなくなりますと雑音が
聞こえます。

■LCD 消灯設定機能

この機能をONにすると、同時通話にて通話中のみLCD表示が消えます。
同時通話中に雑音が混じり聞きづらいときに、この機能をONにすることで改善される場合があります。
モード２（同時通話）のみ設定可能です。

１．MODEボタンを押して、Ld表示で ”oF” 表示を点滅させます。

２．▲(UP) 又は▼(DOWN) ボタンを押して、のように”oF”か”on”を選択します。

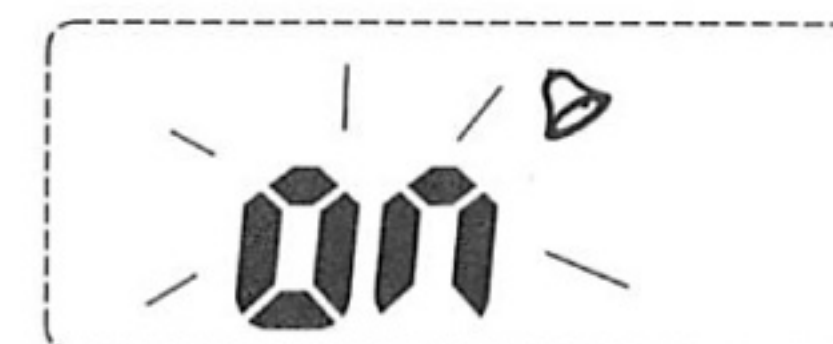
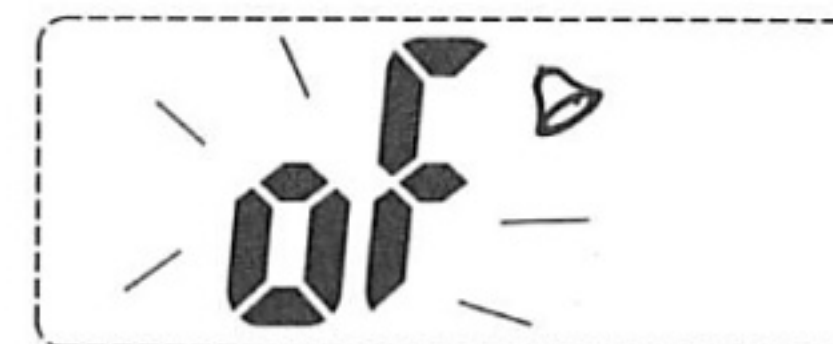
３．LCD 消灯設定機能を使用しない時は、”oF”を選択してください。

４．PTTスイッチを押すと、表示している番号が設定されます。
そのままの状態でも１0秒後に設定されます。

■スタンバイ ピー機能

送話が終わり、PTTスイッチから手をはなした時に送出するピー音のON/OFF設定です。
モード１（交互通話）のみ設定可能です。

１．MODEボタンを押して、ベルマークを表示させ、”oF”表示を点滅させます。

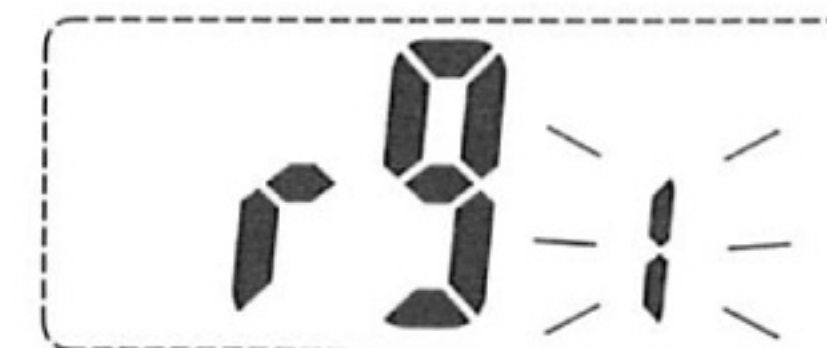
２．▲(UP) 又は▼(DOWN) ボタンを押して、”oF”⇔”on”の選択します。

スタンバイ ピー機能を使用する時は”on”を選択してください。

３．PTTスイッチを押すと、表示している番号が設定されます。
そのままの状態でも１0秒後に設定されます。

■スタンバイ ピー音の選択

送話が終わり、PTTスイッチから手をはなした時に送出するピー音の音色設定です。
モード１（交互通話）のみ設定可能です。

１．MODEボタンを押して、r 9を表示させ、”1”表示を点滅させます。

２．▲(UP) 又は▼(DOWN) ボタンを押して、1”⇔”5 ”の選択します。

３．PTTスイッチを押すと、表示している番号が設定されます。
そのままの状態でも１0秒後に設定されます。

■エマージェンシー＆セーフティーライト機能

本体の電源のON/OFFに関係なく操作が行えます。
エマージェンシー＆セーフティーライト機能はLED連続点灯か、
1秒間隔で点滅するかを設定できます。

1．点滅
ライトが消灯状態でLEDキーを1秒押し続けると、2秒間隔で
点滅する。

2．点灯
ライトが点滅状態でLEDキーを押すと、ライトは点灯する。

3．消灯
ライトが点滅か、点灯状態でLEDキーを2秒以上押すと、
ライトは消灯する。

■バッテリーの種類選択

使用する電池により電圧が異なるため、より正確に表示できるように、
使うバッテリーにより切り替えてください。
※表示と電池が異なっていても、使用上の問題はありません。

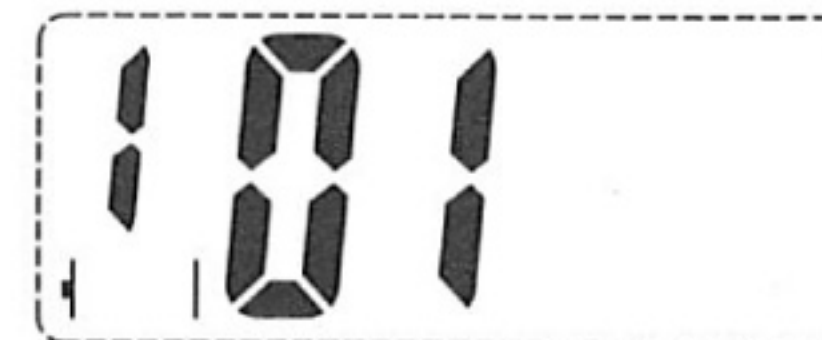
1．MODEボタンで"A"または"n"を点滅させます。

2．▲(UP)又は▼(DOWN)　ボタンを押して、"n"か"A"を選択します。

3．Aはアルカリ電池、nはオプションの充電式バッテリーです。
お使いのバッテリーに合わせて、UP/DOWNボタンで選択します。

4．PTTスイッチを押すと、表示している番号が設定されます。
そのままの状態でも15秒後に設定されます。

■バッテリー警告機能

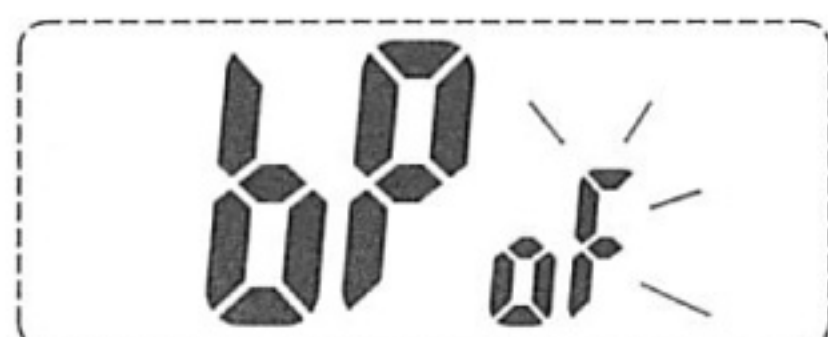
バッテリーの残量が少なくなるとLCDに図のような電池マークが出ます。

バッテリー表示の3本のバーが、全て表示されている状態であれば
問題なく使用することができます。

容量が少なくなると、バーの数が少なくなり、警告音が鳴ります。
その際は、注意して使用していただき、新しいバッテリーに交換して
使用してください。
バーは目安にしてください。

■キー操作確認音設定

キー（ボタン）操作をしたとき、確認の音を鳴らしたり
止めたりする設定です。

1．MODEボタンを押して、b Pを表示させ、"on" 表示を点滅させます。

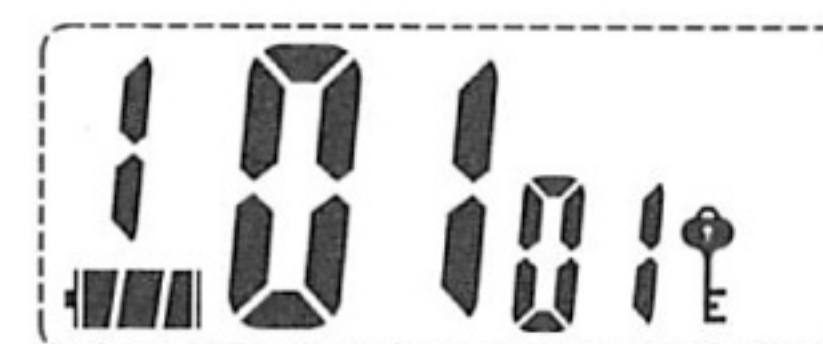
2．▲(UP)又は▼(DOWN)　ボタンを押して、"oF"⇔"on"　の
選択します。

3．PTTスイッチを押すと、表示している番号が設定されます。
そのままの状態でも10 秒後に設定されます。

b P表示が"oF" にて、確認音は鳴りません。

■キーロック機能

誤ってキー（ボタン）に触れ、設定の変更や誤操作を防止します。

1．キーロックする。
MODEボタンを2秒以上押し続ける。（鍵のマークが出る。）

2．キーロック解除
MODEボタンを再度、2秒以上押し続ける。（鍵のマークが消える。）

3．キーのマークが表示中は、▲(UP)、▼(DOWN)、MONI、MODE
ボタン（キー）が無効になります。
ただし、同時通話（複信モード）やベビー モニター（半複信）で
通信中はMONIボタンは有効です。

4．PTT、電源ボタンは常に有効です。

■リセット機能

リセット操作を行ないますと、設定が工場出荷状態に戻ります。

1．リセット方法
（１）電源をOFFにする。
（２）MODEボタンを押したままで、電源スイッチを入れます。
（３）これでリセットは完了です。

工場出荷状態は下記のとおりです。

モード	：01
チャンネル	：01
グループ　モード	：OF
送信パワー	：HI
VOX	：OFF
SQL	：2
APO	：OFF
チャンネル スキャン	：OFF
キーロック	：OFF
キー操作確認音設定　bP	：ON
コール（特定呼出）Ct	：01
スタンバイ　ピー（ベル コール）	：OFF
スタンバイ　ピー音（ベル コール）r9	：1
LCD表示	：OFF
電池	：n
エマージェンシー＆セーフティーライト機能	：OFF
モニター	：OFF

故障かなと思ったら

修理を依頼される前に下記の〔症状による項目確認〕を点検してください。それでも回復しない場合や、動作がおかしい場合、キーを押しても反応しない場合は、リセットしてみてください。

■症状による確認項目

症状	原因	処置
電源が入らない。	a.電池の入れ方が違う b.電池が消耗している。	a.+-を正しく入れる。 b.新しい電池に交換する。
受信できない。 音量つまみを回しても音がでない。	a.PTTが押されて送信中になっている。 b.ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号が違う。	a.PTTを離す。 b.ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号を相手と同じにする。
相手と通話できない。	a.ﾁｬﾝﾈﾙかｸﾞﾙｰﾌﾟ番号が違う。 b.相手との距離が離れすぎている。 c.通話ﾓｰﾄﾞが違っている。	a.ﾁｬﾝﾈﾙ番号、ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号を相手と同じに合わせる。 b.通話の出来る距離まで近づく。 c.相手と同じﾓｰﾄﾞにする。
どのキーを押しても表示が変化しない。	ｷｰﾛｯｸになっている。	ｷｰﾛｯｸを解除する。
表示がすぐ消える	電池が消耗している。	新しい電池に交換する。

電波法に関するご注意

●本機裏面の技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。

●本機を分解したり、改造して使用することはできません。

●他人の通信を聞いてこれを漏らしたり、窃用することは電波法により禁止されています。

●無線機の使用が禁止されている所があります。航空機内、空港敷地内、新幹線車両などでは使用しないでください。

■ご使用にあたって

●本機と通話できるトランシーバーは次の通りです。
・９ｃｈ・１１ｃｈの特定小電力トランシーバー
・２０ｃｈの特定小電力トランシーバー
※現在お手持ちのトランシーバーが通話可能かお確かめください。
・本機はレピーター（中継局）を使用しての交信はできません。
・通話の出来る距離は地形や環境によって大きく異なりますが目安は次の通りです。
建築物が多い地域や、自動車などの金属部物体の周囲では、通話の出来る距離が短くなります。
・市街地　　　　　：１００～２００ｍ
・見通しのよい場所：１～２ｋｍ

・本機は日常生活防水（JIS 4級防沫型）になっておりますが多くの水がかかる場所でのご使用は注意してご使用ください。

・テレビ・ラジオ・パソコン、蛍光灯のある場所では、電波障害を与えたり、受けたりすることがありますので、これらの物から離れてご使用ください。

チャンネル互換表

・下記のチャンネル設定で本機以外のトランシーバーと通話が可能となります。

■ 通話チャンネル適合表

FC-B47	FC-S20	9ch機	11ch機	20ch機
ch．1	ch．1		ch．1	ch．1
ch．2	ch．2		ch．2	ch．2
ch．3	ch．3		ch．3	ch．3
ch．4	ch．4		ch．4	ch．4
ch．5	ch．5		ch．5	ch．5
ch．6	ch．6		ch．6	ch．6
ch．7	ch．7		ch．7	ch．7
ch．8	ch．8		ch．8	ch．8
ch．9	ch．9		ch．9	ch．9
ch．10	ch．10		ch．10	ch．10
ch．11	ch．11		ch．11	ch．11
ch．12	ch．12	ch．1		ch．12
ch．13	ch．13	ch．2		ch．13
ch．14	ch．14	ch．3		ch．14
ch．15	ch．15	ch．4		ch．15
ch．16	ch．16	ch．5		ch．16
ch．17	ch．17	ch．6		ch．17
ch．18	ch．18	ch．7		ch．18
ch．19	ch．19	ch．8		ch．19
ch．20	ch．20	ch．9		ch．20

FC-B47 Frequency list

	チャンネル	MODE 1(単信)
		送信・受信
ビジネスチャンネル	1	422.0500
	2	422.0625
	3	422.0750
	4	422.0875
	5	422.1000
	6	422.1125
	7	422.1250
	8	422.1375
	9	422.1500
	10	422.1625
	11	422.1750
レジャーチャンネル	12	422.2000
	13	422.2125
	14	422.2250
	15	422.2375
	16	422.2500
	17	422.2625
	18	422.2750
	19	422.2875
	20	422.3000

	チャンネル	MODE 2 (複信)		MODE 3 (半複信)	
		MASTER(発信)	SLAVE(受信)	MODE A(親機)	MODE B(子機)
ビジネスチャンネル	21	421.5750	440.0250	440.0250	421.5750
	22	421.5875	440.0375	440.0375	421.5875
	23	421.6000	440.0500	440.0500	421.6000
	24	421.6125	440.0625	440.0625	421.6125
	25	421.6250	440.0750	440.0750	421.6250
	26	421.6375	440.0875	440.0875	421.6375
	27	421.6500	440.1000	440.1000	421.6500
	28	421.6625	440.1125	440.1125	421.6625
	29	421.6750	440.1250	440.1250	421.6750
	30	421.6875	440.1375	440.1375	421.6875
	31	421.7000	440.1500	440.1500	421.7000
	32	421.7125	440.1625	440.1625	421.7125
	33	421.7250	440.1750	440.1750	421.7250
	34	421.7375	440.1875	440.1875	421.7375
	35	421.7500	440.2000	440.2000	421.7500
	36	421.7625	440.2125	440.2125	421.7625
	37	421.7750	440.2250	440.2250	421.7750
	38	421.7875	440.2375	440.2375	421.7875
レジャーチャンネル	39	421.8125	440.2625	440.2625	421.8125
	40	421.8250	440.2750	440.2750	421.8250
	41	421.8375	440.2875	440.2875	421.8375
	42	421.8500	440.3000	440.3000	421.8500
	43	421.8625	440.3125	440.3125	421.8625
	44	421.8750	440.3250	440.3250	421.8750
	45	421.8875	440.3375	440.3375	421.8875
	46	421.9000	440.3500	440.3500	421.9000
	47	421.9125	440.3625	440.3625	421.9125

仕様

送受信周波数・・・ ４２２．０５００～４２２．３０００ＭＨｚ（単信）
・・・・・ ４２１．５７５０～４２１．９１２５ＭＨｚ（複信・半複信）
・・・・・ ４４０．０２５０～４４０．３６２５ＭＨｚ（複信・半複信）
電波形式 ・・・・ Ｆ３Ｅ
送信出力 ・・・・ １０mW/1mW
受信感度 ・・・・ －１０ｄｂμ以下（１２ｄｂ ＳＩＮＡＤ）
消費電流 ・・・・ 送信時約８０ｍＡ以下
（モード1） 受信時約４５mA以下
受信最大時約２００ｍＡ以下
使用温度範囲・・・ ー１０℃～＋５０℃
電源電圧 ・・・・ ＤＣ３．６～４．５Ｖ
又はオプションのバッテリーパック
ＦＢＰ－１
重量 ・・・・ 約210ｇ（単３アルカリ電池３本含む）
寸法 ・・・・ 幅54.9×高さ110.3×奥行き26.2mm
防水性能 ・・・・ JIS 4級 防沫仕様（IPX4）
本体材質 ・・・・ ポリカーボネート製の堅牢ケース採用

※仕様は予告なく変更する場合がございます。

保証とアフターサービスについて （よくお読みください）

保証について

●保証書（取扱説明書に添付）
この製品には、保証書を添付しております。保証書は必ず、お買上日、販売店名の記入をご確認の上、販売店から受け取ってください。

●保証期間
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

修理を依頼される時は
故障かなと思ったら、33ページを参照してお調べください。
お調べ頂き不具合が解消されない場合は販売店にご相談ください。

●保証期間中は
正常な使用状態で故障が生じた場合、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店もしくは、弊社にて修理を致します。
その際、保証書をご提示してください。
本機以外の原因（落下、水没など）による故障の場合は、保証対象外となります。詳しくは保証規定をご覧ください。

●保証期間経過後は
お買い上げの販売店もしくは、弊社にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、有料にて修理いたします。

●この製品は持ち込み修理とさせていただきます。

FIRSTCOM 保証書 持込修理

- お客様の正常なご使用状態で、万一故障した場合には、お買い上げの販売店に必ず本保証書を提示の上、修理をご依頼ください。
- 本保証書はお買い上げ日、販売店名の記入捺印の無い物は無効となります。必ず記入事項の確認を行ってください。
- 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 本製品は持込修理とさせていただきます。

見本

型番	[illegible]C-B4[illegible]		
シリアル番号	S/N:FB4N12[illegible]00884		
保証期間	お買い上げ日より[illegible]年間		
	お買い上げ日	年　　月　　日	
お客様	ご住所		
	ご氏名	様	
販売店	TEL 印		

株式会社　エフ・アール・シー

〒194-0035　東京都町田市忠生4-11-8

お客様相談室　042-793-7746

【メモ】